

なぎさ



病院理念 **人にやさしく 信頼される病院**

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
 羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502
 石川県羽咋市の場町松崎24番地
 TEL(0767)22-1220
 FAX(0767)22-5598
<https://www.hakuihp.jp/>

高齢者の糖尿病管理

— 低血糖を防ぐ



高齢者(65歳以上)の血糖管理は、若年者と同じ管理でよいのでしょうか？
2016年日本糖尿病学会と日本老年医学会は高齢者糖尿病の血糖コントロール目標を発表しました(図1)。

若年者の血糖管理と比べ目標が緩いこと、患者の特徴・健康状態により区別されていること、低血糖を起こしうる薬剤の使用により区別されていることが、特徴です。なぜこのような分類になったのでしょうか。

過去の大規模臨床研究において、動脈硬化合併の糖尿病患者にたいして厳しすぎる血糖管理を行うことにより、かえって早期に死亡することが証明されたからです。それは重症低血糖が関与していることが示されており。重症低血糖を起こすことにより体では交感神経の働きにより血糖を元に戻そうとするのですが、その交感神経のはたらきにより、危険な不整脈をおこしたり、血管を収縮させることで脳梗塞・心筋梗塞を起こしたりなど生命の危険をもたらします。高齢者糖尿病患者ではこういった重症低血糖が気づきにくいとされ、より重症低血糖を避けた治療法が望まれます。

また、後期高齢者(75歳以上)の血糖管理と予後調査を行うと、最も予後の良い血糖管理はHbA1c7.0-7.9%であり、それ以上でもそれ以下でも死亡率は増加します。良すぎる血糖管理は重症低血糖を起こしている可能性があります。(ただし病気などで弱っている患者さんは食事の摂取がすくないので、おのずと血糖管理は良い方に動きます。このことも注意する必要があります。)

高齢者の皆さんは血糖コントロール目標に応じて糖尿病の治療を進めてください。

内科医長 喜多 裕樹

図1 高齢者の血糖コントロール目標

患者の特徴・健康状態 ^(注1)	カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII	
		① 認知機能正常 かつ ② ADL自立		① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下、 基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤, SU薬, グリニド薬など)の使用	なし ^(注2)	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^(注3)	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

【図のみかた】

左・中・右段・・・患者さんの特徴・健康状態

左段・・・健康状態に問題がない

中段・・・手段的ADLが低下している(買い物・食事の準備・服薬管理・金銭管理ができない)。

ただし基本的ADLは問題ない(着衣・移動・入浴・トイレの使用ができる)

右段・・・基本的ADLが低下している(着衣・移動・入浴・トイレの使用ができない)

上下段・・・低血糖を起こしうる薬剤を使用している

低血糖を起こさない薬剤(DPP4 阻害薬・メトホルミン・チアゾリジン薬・SGLT2 阻害薬・α Gl 薬・GLP1 アナログ注射)

低血糖を起こしうる薬剤(SU薬・インスリン注射・グリニド薬)

第3回 糖尿病対策チーム



当院は医師（糖尿病専門医）・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師・事務職が糖尿病対策チームを組んで、それぞれの職種が専門的知識を生かし患者さんの療養生活を支援しています。

糖尿病は、すい臓から分泌されるインスリンの不足、インスリンの欠乏、それにインスリンの効きが悪い状態が重なり、高血糖となる病気です。糖尿病で怖いのは、高血糖の持続による、合併症の出現です。3大合併症には、糖尿病神経障害、糖尿病網膜症、糖尿病腎症などの細小血管障害があり、大血管障害の脳梗塞や心筋梗塞を発症するリスクが高まります。血糖値を正常に保つことで、その合併症の進行を遅らせることができます。

当院の活動としては、看護外来が毎週火曜日に予約制でおこなわれており、日本糖尿病療養指導士資格を取得した看護師と管理栄養士が、血糖値を正常に保つための生活指導や、足の疾患を悪化させないためのフットケア（足の観察、処置）をおこない、様々な相談や困りごとを聞き支援しています。

入院患者さんには、病棟看護師と病棟に常駐している管理栄養士、理学療法士、薬剤師が、糖尿病に関する情報を提供し、新たに必要となる治療の説明をおこない、糖尿病を持つ患者さん1人1人をみんなで支える体勢をとっています。退院時には、多職種が参加し患者さんと家族を交えたチームカンファレンスを開き、入院から外来へ通院となる患者さんへ、継続した支援を実施しています。

糖尿病教室は月5回開催しています。どなたでも参加できるので、興味のある方は、院内の案内をご覧ください。

糖尿病療養指導士 看護師 和角 裕子



リハビリテーション療法士の各病棟配置について

リハビリテーション科では、平成30年10月より各病棟に専従リハビリテーション療法士を配置しています。4階病棟には地域包括ケア病棟開設時の平成26年に、2階病棟には平成28年に配置をしていましたが、今回3階病棟にも新たに配置しました。専従療法士は病棟に滞在する時間が長くなりますので、患者さんに対しては、病室へ出向く事が増えます。また医師や看護師など他職種の方に対しては、相談や連絡等を必要な時に遅れることなく密に行うことができます。入院早期にリハビリテーション治療が必要と思われる患者さんについて、医師にリハビリテーション開始指示の依頼をおこないますし、看護師の朝の申し送りに参加し当日の最新情報を得ています。実際のリハビリテーション治療は担当療法士がおこないますので、必要な情報を担当療法士に伝達し、治療に役立てています。



朝の申し送りの様子。
写真右端がリハビリテーション療法士

病棟専従療法士と担当療法士が共に、患者さんに寄り添ったリハビリテーション治療をすすめる事を目指しています。

リハビリテーション科 副士長 山崎 敏美

石川県防災訓練、原子力災害訓練について

11月25日（日）に宝達志水町でおこなわれた「平成30年度石川県防災総合訓練」に、当院DMAT（災害派遣医療チーム）が参加しました。邑知潟断層を震源とする震度6の地震が発生したという想定の下、圏域直近の災害拠点病院である当院において、DMAT活動拠点本部の設置及び運営訓練をおこないました。本部活動の内容の再確認ができ、また訓練を進めて行く中で様々な追加想定が付与され、緊張感を持って取り組むことができました。毎年、各地で様々な災害が起きていますが、当院DMATはこれからも日々訓練を重ね、災害拠点病院としての役割が果たせるよう災害対応力の強化に努めていきます。



救急室を想定した講義室での養生の様子

当院は、志賀原子力発電所から30km圏内のUPZ（緊急時防護措置を準備する区域）内に位置しており、事故・災害などの際、迅速に対応できるよう毎年度訓練を実施しています。平成30年度は11月29日（木）に、志賀原子力発電所にて放射性物質による汚染傷病者が発生したという想定の下、受け入れ訓練をおこないました。連絡体制や災害対策本部設置などの初動体制の確認、並びに実動として救急室の養生をおこない、関係者の技能及び意識の向上を図ることを主目的として取り組みました。今後も、万が一の事態にも適切な対応がとれるよう準備をしていきます。

DMAT・原子力災害対策チーム 村田 浩一

お知らせ

車椅子使用運転者専用駐車場について

当院では、このたび車椅子使用運転者専用駐車区画（以下「専用駐車場」）を設けました。

これまで、障がいをもつ方や妊娠、けが、高齢などで身体が不自由な方が優先的に利用していただくための駐車場を6台分用意していました。そのうちの2台分を専用駐車場に変更し、正面玄関前と時間外・救急出入口前に各1台分のスペースを確保しました。

専用駐車場は、車で来院される方で運転者本人が車椅子を使用される方の利用に限定させていただきます。

障がい者手帳や駐車違反除外指定車証等をお持ちの方であっても、運転者が車椅子使用でない場合は、専用駐車場以外の駐車場をご利用くださるようご協力をお願いします。

なお、専用駐車場をご利用のときは、駐車場整理員に声かけいただくか、病院代表電話（0767-22-1220）へご連絡ください。※専用駐車場の利用は、診療時間内のみとさせていただきます。

総務課



石川県立看護大学基礎看護学実習を受け入れて

今年度は看護学生22名が、チーム医療における多職種のシャドーイング研修をおこないました。シャドーイング研修とは、「観察」が主となり、一つひとつの実践を見て学び取る研修です。観察される職員にとっても難しいのですが、まとめのカンファレンスでは、退院先を家族間で相談する意思決定の場面や、術後の合併症が出現し、看護師が処置を行う緊迫した場面について語りだすと、学生も指導者もお互いに涙をこぼす場面がありました。とても内容の濃い、生涯忘れることのない実習になったのではないのでしょうか。初心を忘れることなく、しっかり学び、頼れる看護師になってくださいね。

総看護師長 山中 由貴子



事前オリエンテーションの様子



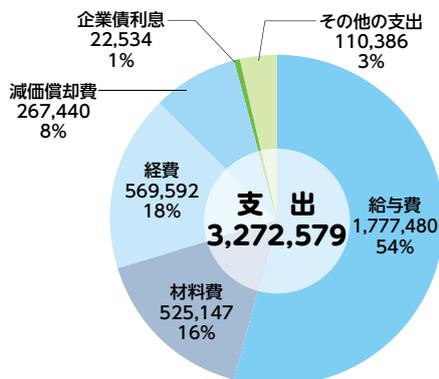
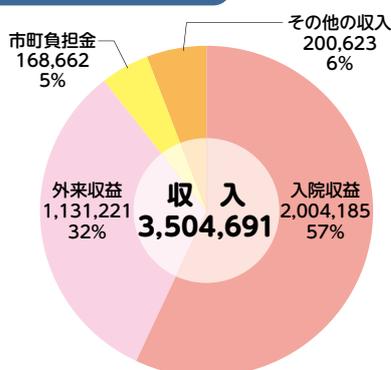
実習最終日の集合写真

平成29年度決算のお知らせ

平成29年度病院事業の決算について、ご報告申し上げます。

収支状況

(単位：千円)



当年度純利益 232,112 千円

利用状況

区分	年延患者数	1日平均患者数	患者1人1日当たり収入	病床利用率
入院	52,163人	142.9人	38,422円	82.1%
外来	112,901人	424.4人	10,019円	

やすらぎコンサート

平成30年10月25日と12月20日に、やすらぎコンサートが行われました。

10月25日は、ミルフィーユのみなさんに歌っていただきました。「さっちゃん」や「アメージンググレイス」などの他、患者さんも参加して「もみじ」や「里の秋」を一緒に歌いました。郷愁に浸っている方もいらっしやって、参加して良かったと話されていました。



また、12月20日には、羽咋白百合幼稚園児のみなさんによるハンドベルやダンスが披露されました。今年は新たにダンスも披露され、園児たちが楽しそうに踊っていたのが印象的でした。春から新一年生になるそうです。今日のようにこやかな笑顔を絶やさず、日々楽しく過ごしてもらいたいですね。

医療サービス推進室 社会福祉士 西井 寿文

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若葦会の皆様
- ♥ 園児の絵 ゆりかご保育園



いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日: 2/6(水)、3/6(水)、4/3(水)

第1水曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士、理学療法士

高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 2/25(月)、3/25(月)、4/15(月)

(平成31年3月まで) 第4月曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士

ねたきりにはならない!

開催予定日: 2/27(水)、3/27(水)、4/24(水)

第4水曜日 15:00~

場所: 2階病棟 食堂談話室

整形外科医師、作業療法士、管理栄養士

季節の 写真



今年は亥年です。

亥は十二支の最後で、いのししには無病息災を願うほか、情熱といった意味合いも含まれています。

さて今年はどうのような年になるでしょうか。

撮影: 理学療法士 牛ノ濱 弥丘

文: 理学療法士 大西 公亮